

地域の人やもの、自然にふれる体験的な活動を大切にしたキャリア教育指導事例

伊那市立美篤小学校

1 「花育」の実践

美篤小学校では、毎年、地域の花弁栽培をしている生産者の方に学校に来ていただき、花のプレゼントをいただいている。美篤地区が県下でも非常に多くアルストロメリアの栽培をしていることや、花の世話のやり方など教えていただく。そして、全校児童一人一人にアルストロメリアの切り花をプレゼントしていただく。また、3年生は花の苗をいただき、一人一鉢の花を栽培している。

花育の授業 美篤の誇り！

(3学年だよりより)

水曜日に花育の授業がありました。美篤地区が日本に誇るアルストロメリアやトルコギキョウについてのお話を、生産者の方に詳しく教えていただきました。写真や動画で分かりやすく説明していただき、「えー、そうなんだ！」「知らなかった！」という声をあげながら夢中になって聞き入っていました。自分たちの住む美篤地区に誇れる物があるということはとっても素敵なことだと思います。今回教えていただいたこと、大切にしてもらいたいです。そのあと、3年生にトルコギキョウの苗をプレゼントしていただき、それぞれ自分の鉢に植えました。これから毎日水をあげながら大事に育てていきます。きれいな花が咲くといいなあ。また、1人一束のアルストロメリアをいただきました。みんな大事そうに両手でそっと抱えて下校していきました。アルストロメリアの管理のしかたも教えていただいたので、子どもたちに聞きながら育てていただければと思います。



2 資料館・「美篤の歌」を基にした地域学習

美篤小学校では、かつての木造校舎を資料館として、昔の物を多く保管している。毎年、開校記念日には、資料館を開放し、博物館学芸員の方に来ていただき、歴史について教えていただいたり、資料館運営委員会の方にさまざまな活動を体験させていただいたりしている。実際に資料館にある昔の道具に触れる体験もしている。

資料館にある道具を基に、平成30年、「資料館カルタ」を制作した。このカルタを全校のなかよしグループで楽しんでいる。また、開校記念日には地域の方ともいっしょに行った。



美篤地区には、美篤の歴史を歌詞にした「美篤の歌」がある。平成30年に引き続き、令和元年も、6年生はこの歌を基にして、美篤地区の歴史について調べている。歌に出てくる場所を実際に見学に行き、それぞれの場所で歴史について学んでいる。令和元年度は、吉祥寺、洞泉寺のご住職と、諏訪神社の神主さんから地域の歴史についてお話をいただいた。



教えていただいたことをまとめ、「美篤の歌」を広めようと、地域の老人ホームに出かけた。老人ホームでは、まず「美篤の歌」に出てくる歌詞の説明をし、いっしょに歌った。その後、グループに分かれて、お年寄りと話しながら折り紙を折ったり、資料館カルタをしたりして交流を深めることができた。



このような活動を通して、本校で目指す、他者を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝える力をつけようとしている。また、活動を行う中で、次の活動に向けての目標設定と課題を見出し、その解決のために努力をする力をつけようとしている。